

足立区江北木密移転先PJ

# 江北小路

江北小路

スタジオ・クハラ・ヤギ/  
team Timberize  
八木 敦司

# Studio kuhara yagi



久原 裕      八木 敦司

## 沿革

- 1998 クハラ・アーキテクト 設立
- 2001 八木敦司建築設計事務所 設立
- 2010 2つの事務所が合併して  
スタジオ・クハラ・ヤギを設立
- 2014 株式会社スタジオ・クハラ・ヤギ設立

- 第27回木材活用コンクール最優秀賞 | 国土交通大臣賞  
令和三年度木材利用優良施設コンクール 優秀賞
- 第31回北陸建築文化賞 [作品]
- 第23回木材活用コンクール 木材活用賞
- 令和元年度木材利用優良施設コンクール 審査委員会特別賞
- 日本建築学会 作品選集2019
- JIA建築年鑑2018
- 第21回木材活用コンクール 最優秀賞 | 農林水産大臣賞
- 第37回東北建築賞 作品賞
- 第20回木材活用コンクール 最優秀賞 | 国土交通大臣賞
- 第34回福島県建築文化賞 復興賞
- ほか



地域施設



木を活かしたデザイン



プロトタイプ開発



都市木造ビル



共同住宅 準耐火木造



福祉施設

# Timberizeとは

(ティンバライズ)

<設立の目的>

NPO法人team Timberizeは、「木」を新しい材料として捉え、これまでの木造の伝統や慣習に捉われることなく新しい可能性を模索し、新技術や木造デザインを構築することで、社会に広く提案することを目的とします。

NPO法人  
team Timberize



耐火開発



プロトタイプ開発



木を活かす  
デザイン



展覧会



木構造開発



未来の木造提案



木育空間



高知県立林業大学校

次世代育成

木造初心者のための  
中大規模木造塾 2023

<組織>

- 理事長 安井 昇
- 副理事長 山田 敏博
- 理事 萩生田 秀之
- 腰原 幹雄
- 小杉 栄次郎
- 八木 敦司
- 内海 彩
- 加藤 征寛
- 久原 裕
- 佐藤 孝浩
- 監事 保科 章



都市木造の普及啓発

とを目的とします。また、懇親会を開催して交流を深め、ネットワークを広げます。

ティンバライズ  
ラウンドテーブル

「ラウンドテーブル」とは、テーブルを囲んで参加者が平等に意見を述べ合う参加形式です。参加者全員が円卓の立場でディスカッションに参加し、全員が発言しやすい環境が作られる点が特徴です。

情報交換交流会

日程：2ヶ月に一度程度  
募集：都度、会員向けメール配信にて募集  
内容：情報交換交流会  
1. 各校の仕事の中での「ホットな情報、課題」の共有、意見交換  
2. ビジネス、プロジェクト創出  
3. 懇親会を通じた交流会  
主催：NPO法人 team Timberize  
担当：理事 八木 敦司

Timberize Round Table

35歳以下限定！参加者募集中！！

ティンバライズ  
LABO 2025

2025年も開催します！

team Timberize  
NEXT PROJECT2009  
表参道



大都市圏では  
さまざまな用途の中高層耐火木造建築物  
がどんどん建っている

team Timberize  
NEXT PROJECT2019  
高知都市木造編

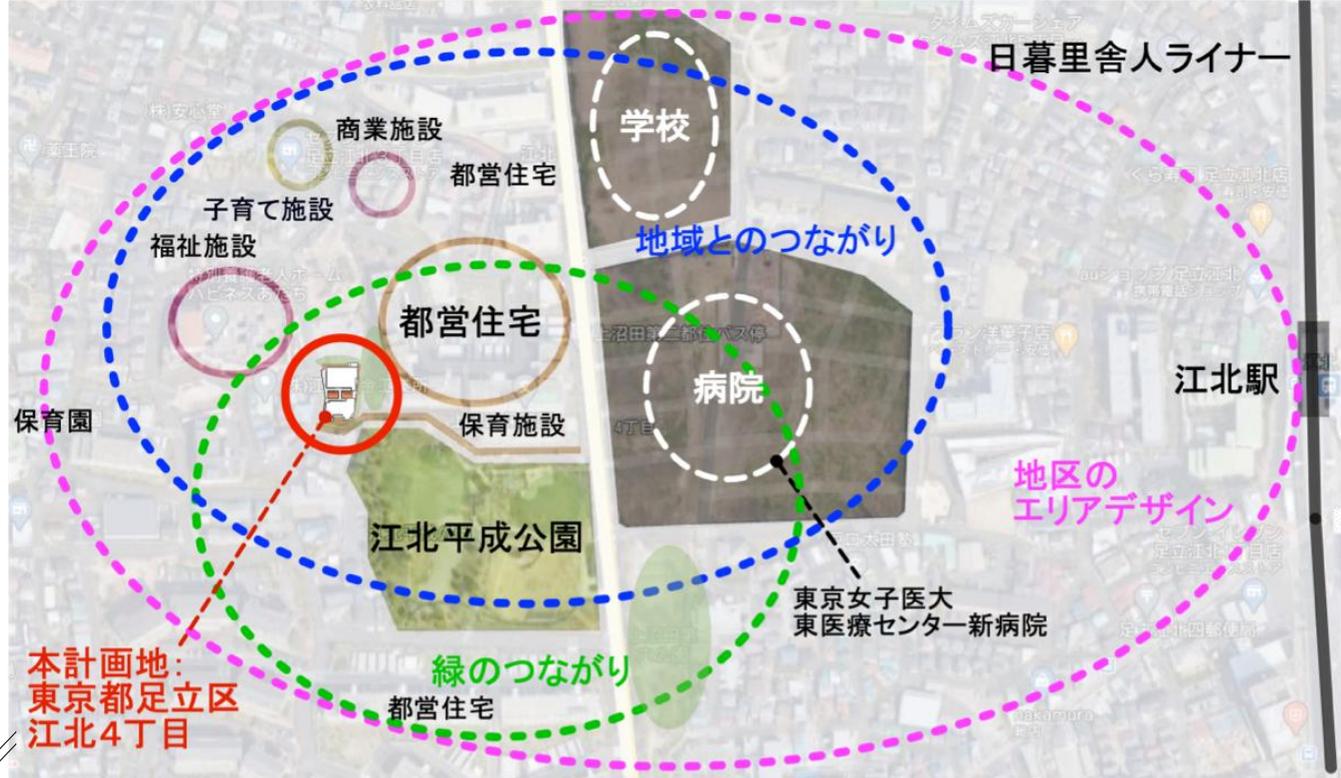


地方都市圏や郊外では  
3階建～4階建の準耐火構造の木造建築物  
が普及の目玉

# PROJECT SCHEME

<都営地活用による魅力的な移転先整備事業>

木密地域から  
コミュニティを維持しつつ移転を促すため、  
魅力ある共同住宅を整備する  
東京都の事業プロポーザル



江北地域MAP

## 東京都足立区江北

周辺は都営住宅が多く、緑豊かな公園、特別養護老人ホームやグループホーム、保育室が広がるエリア

## ① 本プロジェクトで木造を採用した決定要因



1 脱炭素社会実現のための『木造普及』 災害に負けないまちづくりのための『市街地の不燃化』

2 良質なコミュニティ醸成のための『魅力ある地域拠点の整備』

3 魅力ある答えを導く手段として、RCやS造ではなく、**木あらしの準耐火木造**としてデザインすることを選ぶ

## 普及型の『木あらし木造3階建て共同住宅』

在来軸組工法被覆型 + 燃えしろ設計スラブ

スタジオ・クハラ・ヤギとしては、矢吹町の災害公営住宅、糸魚川市の復興住宅に次ぐ、**第3弾の木造3階建て共同住宅**

### <共通の基本スペック>

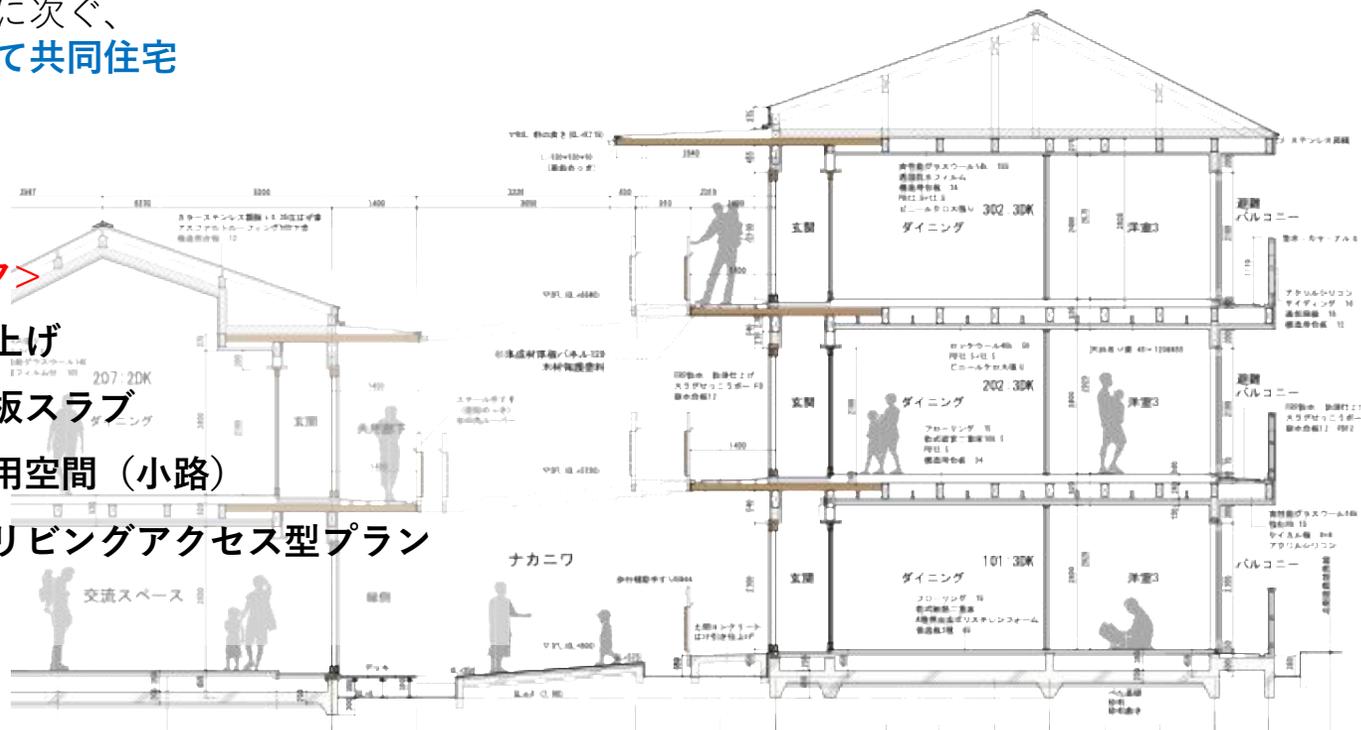
地域材による外壁仕上げ

軒裏木あらしの厚板スラブ

中庭的で路地的な共用空間（小路）

交流と見守りを促すリビングアクセス型プラン

透明ガラスの玄関扉



地方を舞台とした前2作を**都市型に変化**させることにした。

2016 福島県矢吹町  
中町第一災害公営住宅



2019 新潟県糸魚川市  
駅北復興営住宅



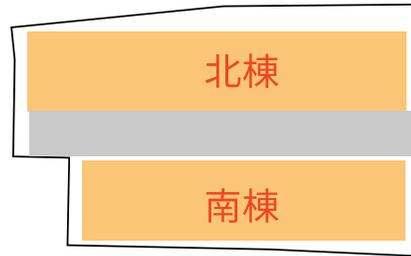
2023 東京都足立区  
江北木密移転先PI  
江北小路



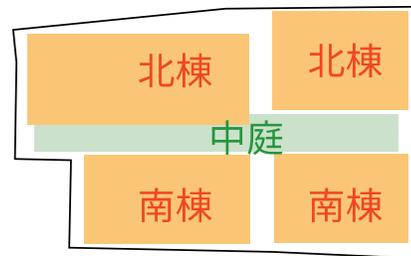
## 外部スペース

→ 中庭的で路地的な共用空間（小路）

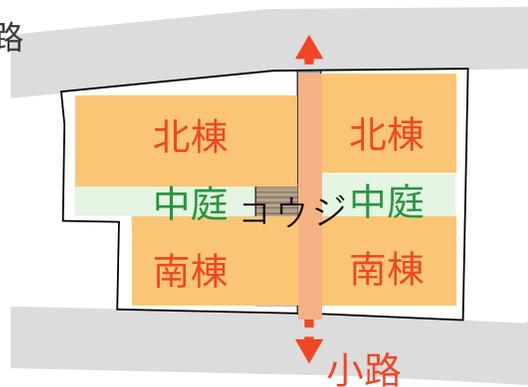
2棟に分ける  
中庭を取る



さらに分けて  
4つの  
ブロックに

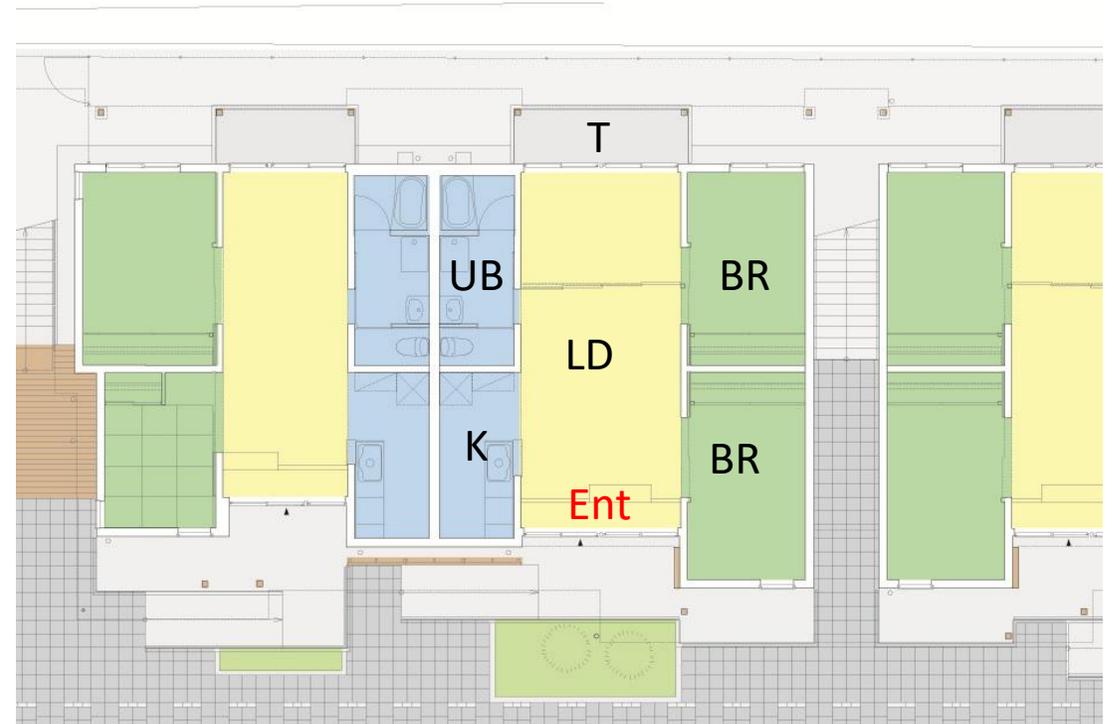


南北に抜ける小路



リビングアクセス 川の字プラン  
透明ガラスの玄関扉

→ 交流と見守り、視線と風と光が通る



# 見守りと交流



とおりにわ

テラス

玄関

様子がわかる  
交流、見まもり

リビング

木材の持つ特徴を  
活かした

許容のデザイン



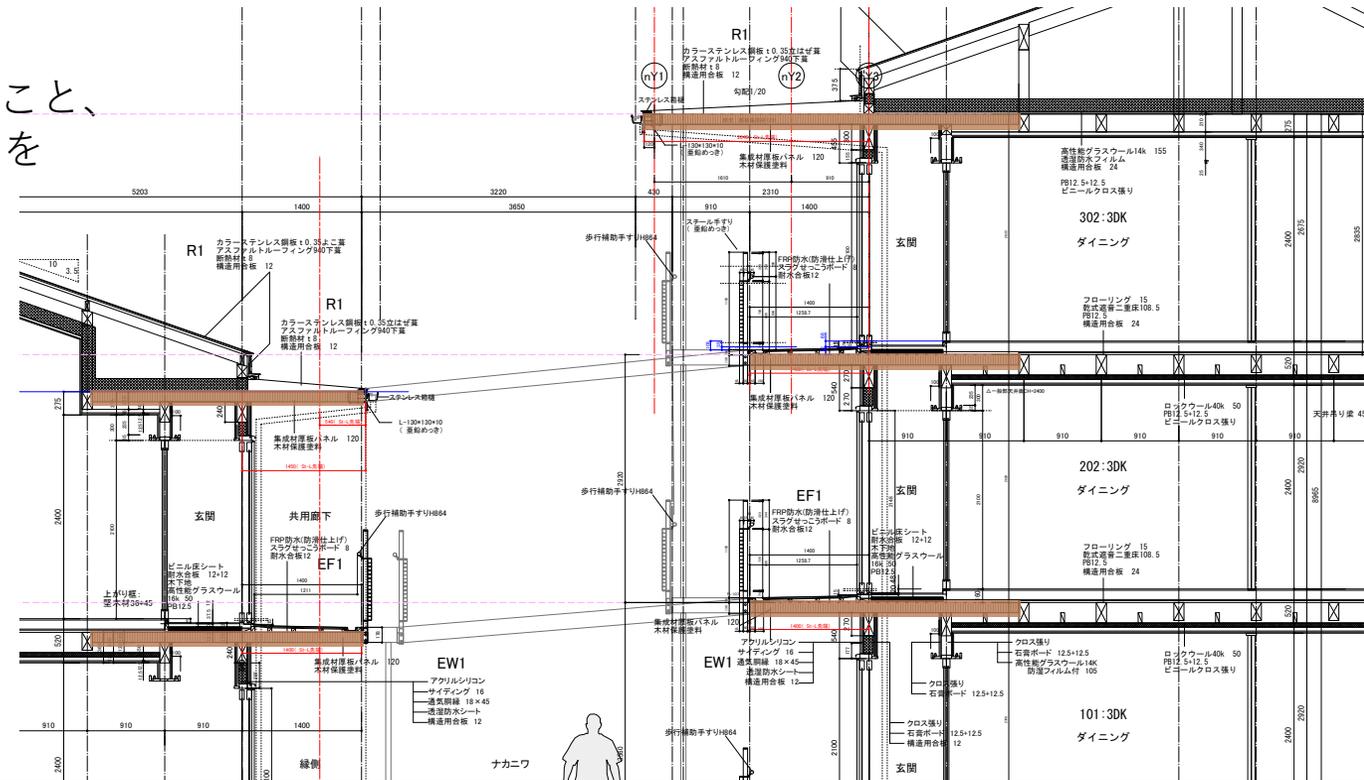
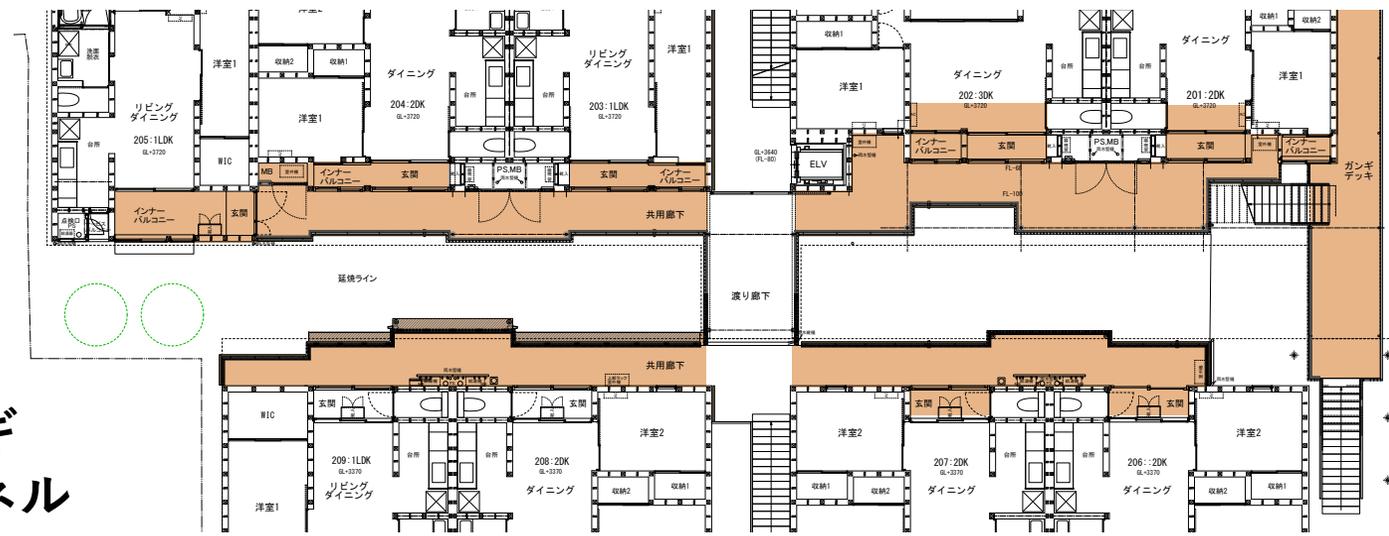
縁側のような空間に生活があふれ出す  
人ともものと建築が混然一体となる

# 地域産の木材を活かす



## 糸魚川産材スギ 集成材厚板パネル

地域産材を活かす  
→軸組はもちろんのこと、  
厚板集成材のラミナを  
糸魚川産材で



市民の憩いの場  
交流拠点として

市民の交流スペース





市民のナカニワ



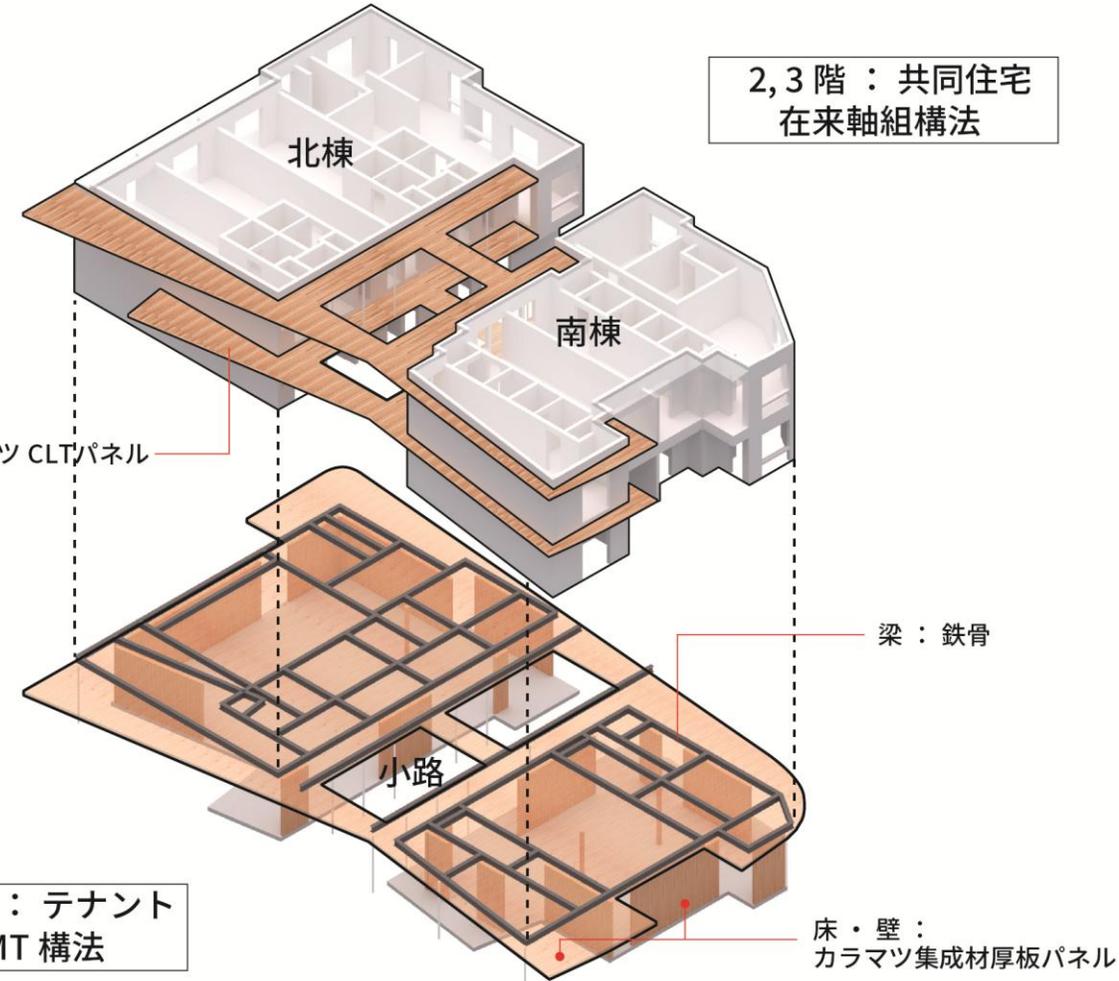
市民の小路

# 都市部に最適な『構法の併用（ハイブリッド化）』

都市部では1階をテナントとすることも多いため、スパンを飛ばせて壁量が少ない、2020年に三菱地所ホームと開発した、厚板集成材の壁とスラブ・鉄骨逆梁によるFMT構法を採用

構法も素材も  
複数を適材適所で併用

- 上階：在来構法
- スラブ：CLT
- ラミナ：カラマツ
- 外壁：多摩産スギ



1階：テナント  
FMT 構法

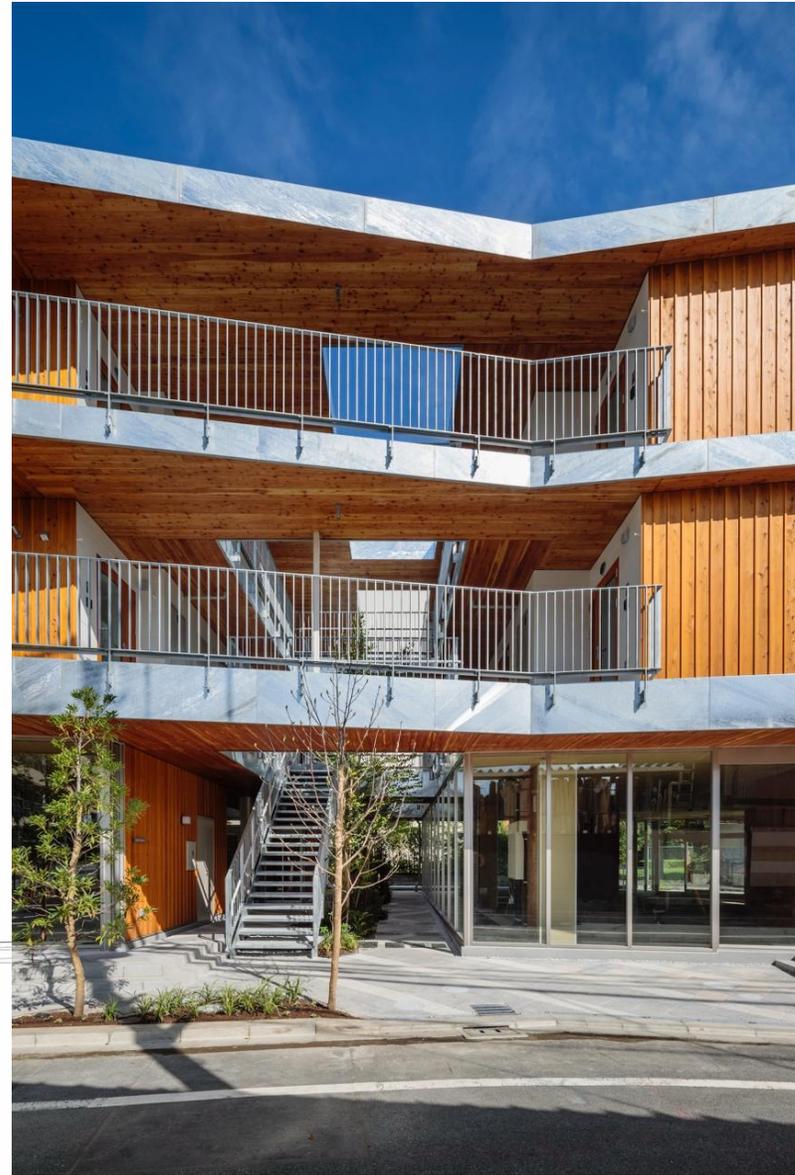
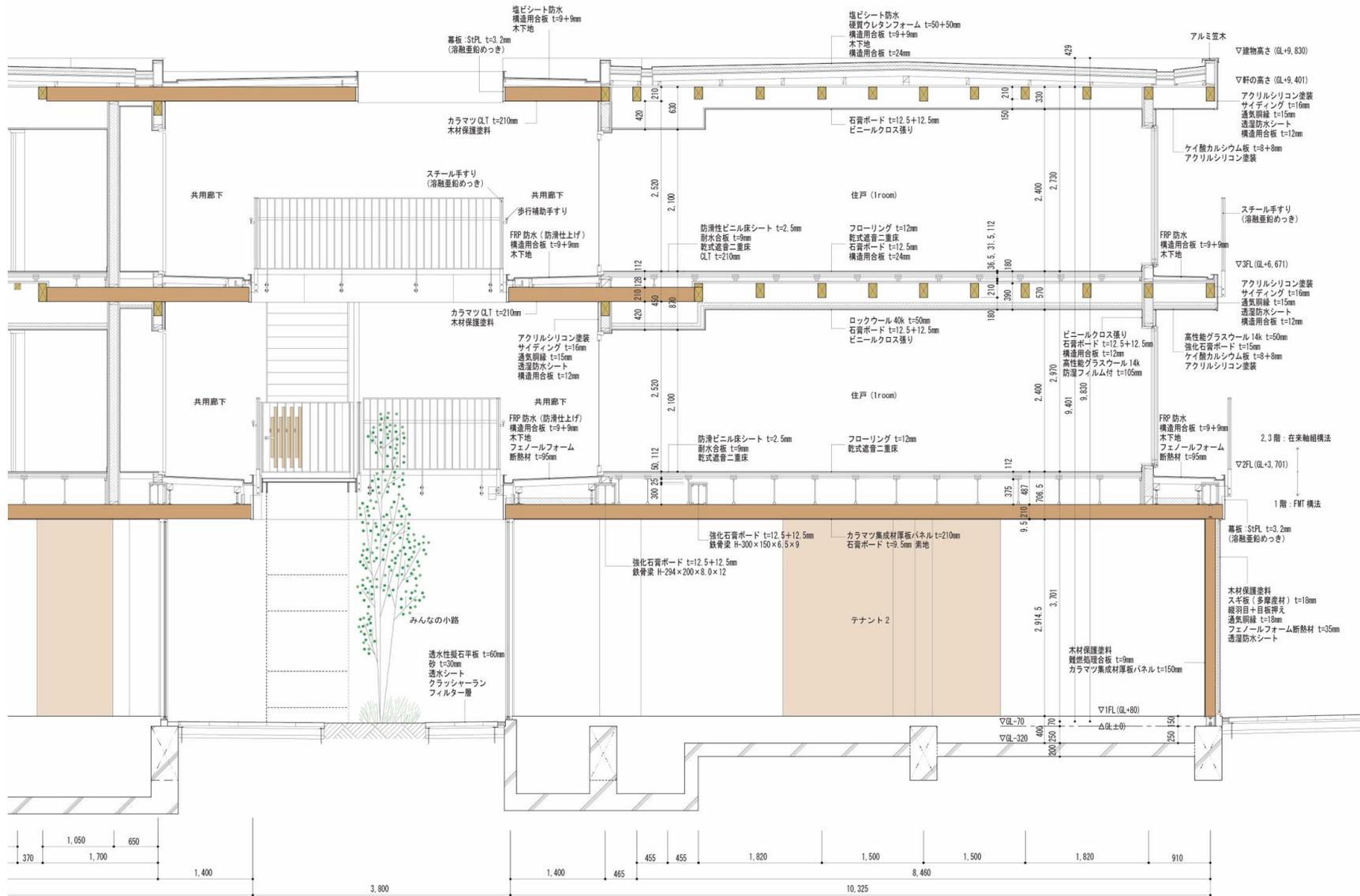
FMT (FLAT MASSTIMBER) 構法



2,3階  
在来軸組

1階：FMT 構法

# SECTION DETAIL



断面詳細図

## コミュニティ性の高い共同住宅タイプを提示

都市圏においても、少子高齢化やコロナ後の在宅ワークの広がり、地域コミュニティの必要性の高まりなど、社会状況の変化に適した形式も必要

交流と互いの見守りを促すリビングアクセス型プランと透明ガラスの玄関扉をこの都市型でも採用



共用廊下に回遊性

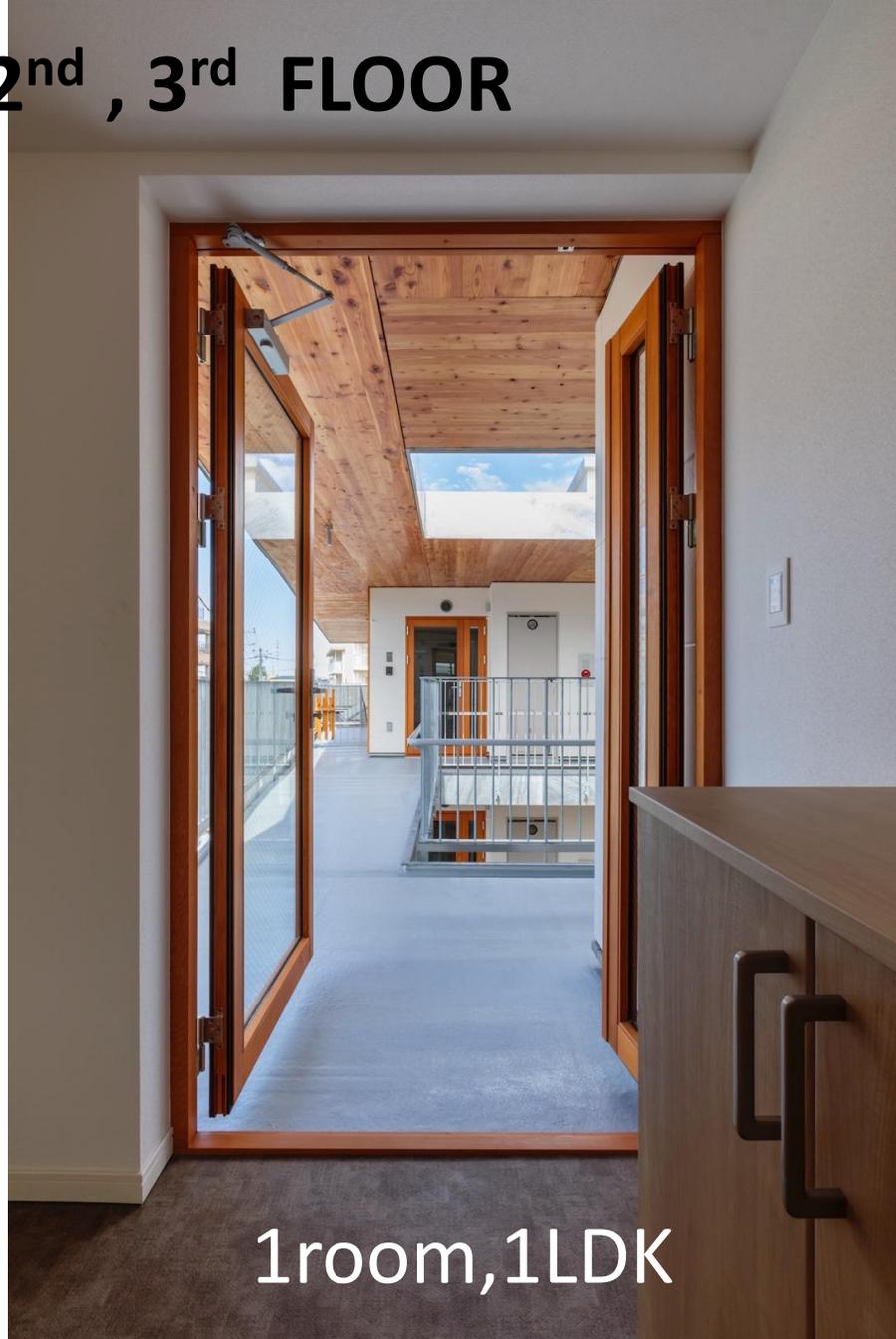


透明ガラスの扉

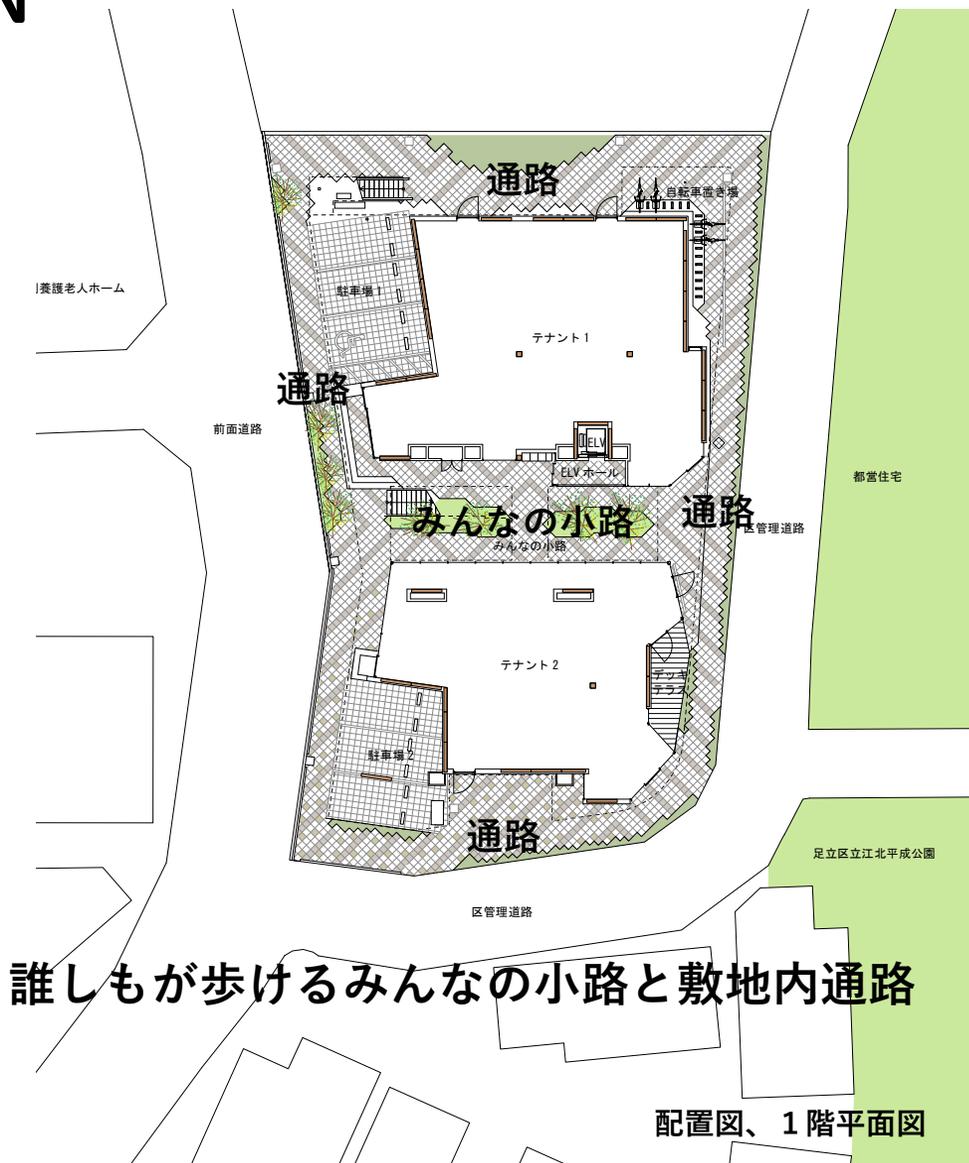


立体的交流テラス

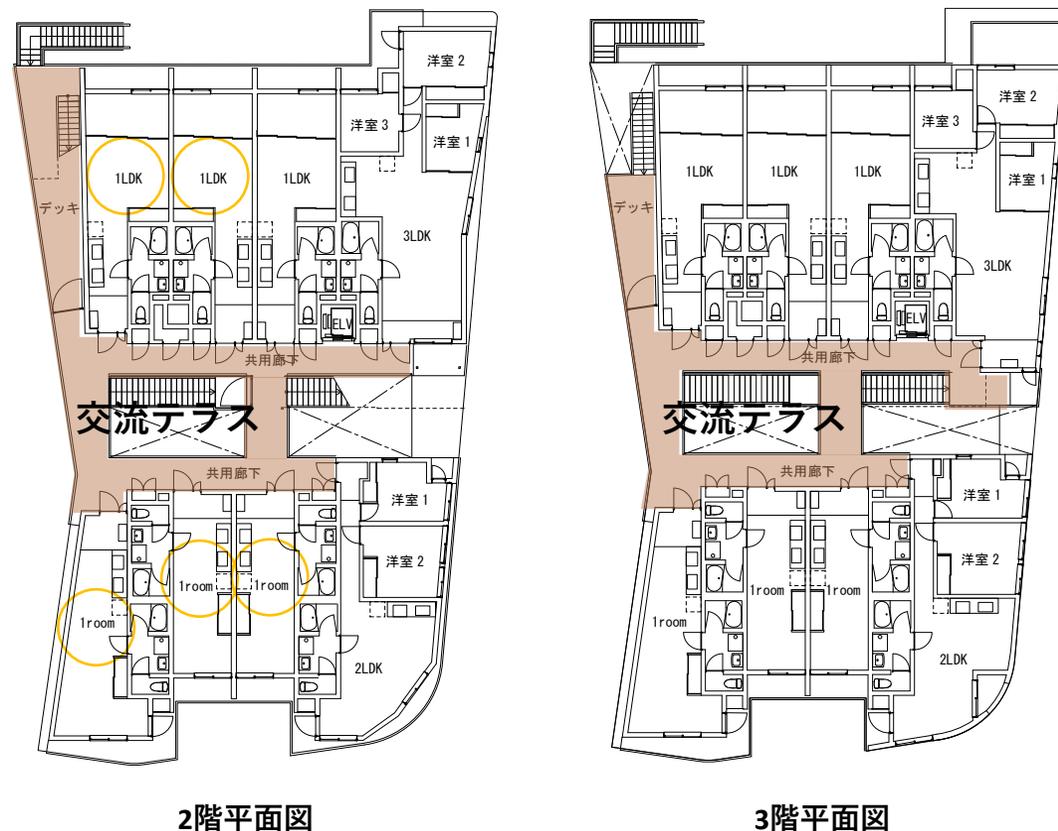
# INTERIOR 2<sup>nd</sup>, 3<sup>rd</sup> FLOOR



# PLAN



## 回遊性のある共用廊下→立体的交流テラス

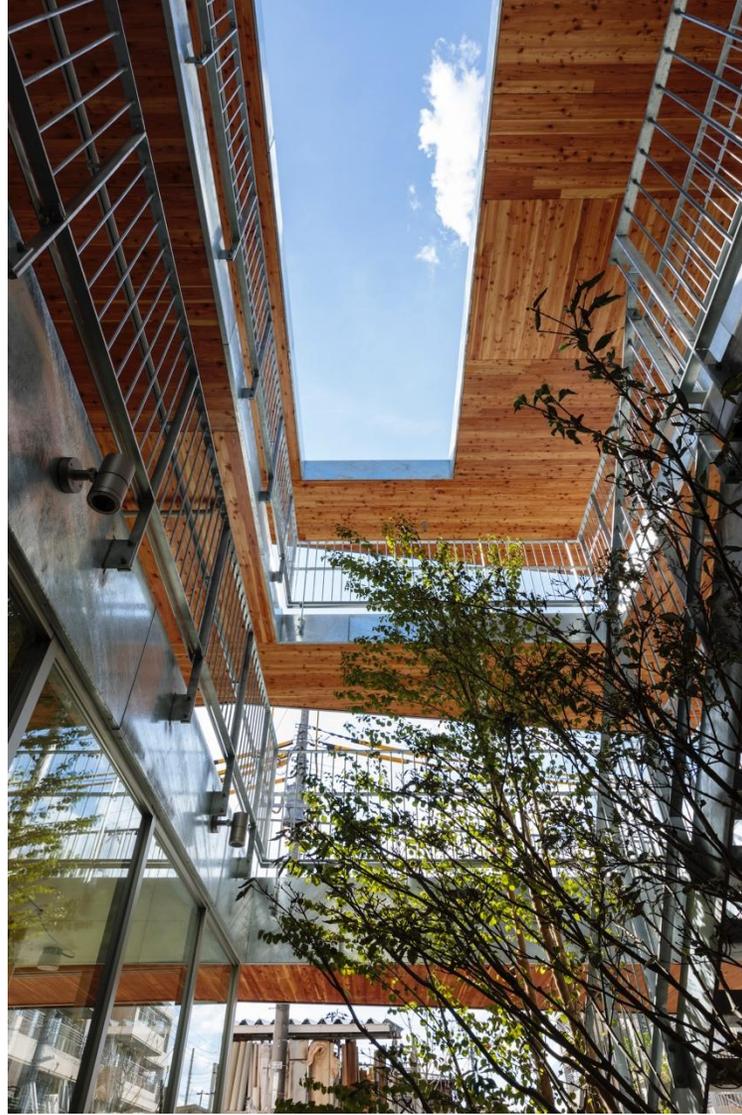


1階にはテナントスペース、2,3階には1ルームから3LDKまでの多世代向け16住戸を計画し、そのうち2階の5戸を足立区内の木密地域等からの移転先対象住戸としている。

# COURTYARD, ALLEY



小路



小路上の  
中庭  
空の開口

小路から公園へ



地域拠点として、  
ランドマーク  
となる外観



回遊性のある共用廊下 = 立体的交流テラス



誰しものが歩ける敷地内通路

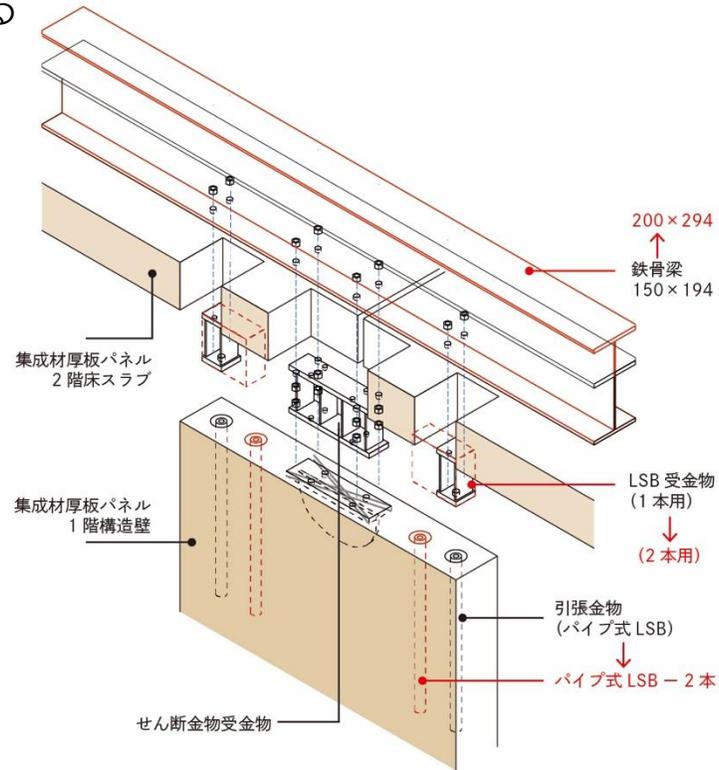


誰しものが歩けるみんなの小路

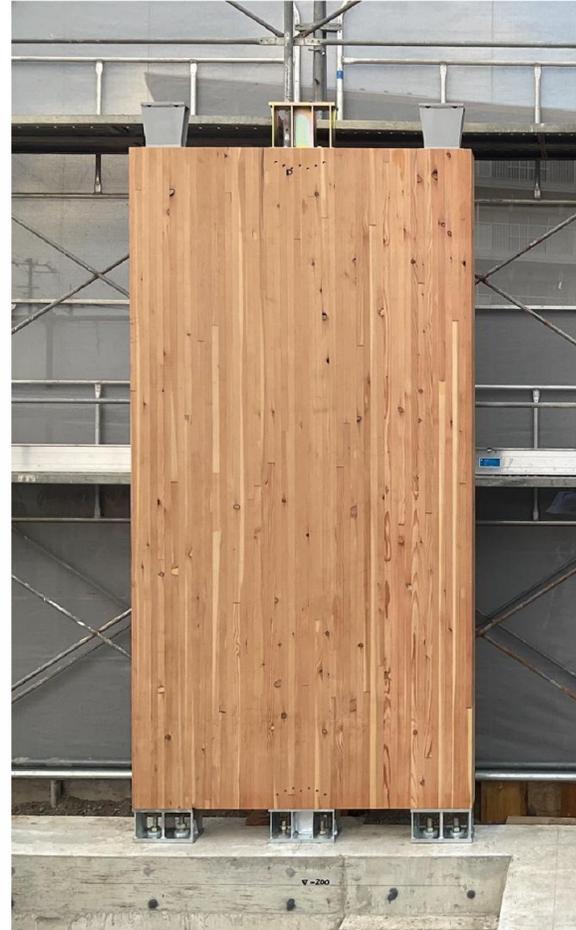
# FMT 1 ② 先導的な設計、施工技術や生産システムの具体的内容

## FMT構法-住宅用より高耐力の非住宅用金物を開発

自由度向上のため壁量をさらに削減  
住宅用に開発したFMT構法を非住宅用に改良  
壁と梁の接合金物に**LSB**を採用  
住宅用は壁の両端に引抜金物としてパイプ**LSB**  
を1本ずつ設けているのに対して、本計画では  
2本ずつ設ける



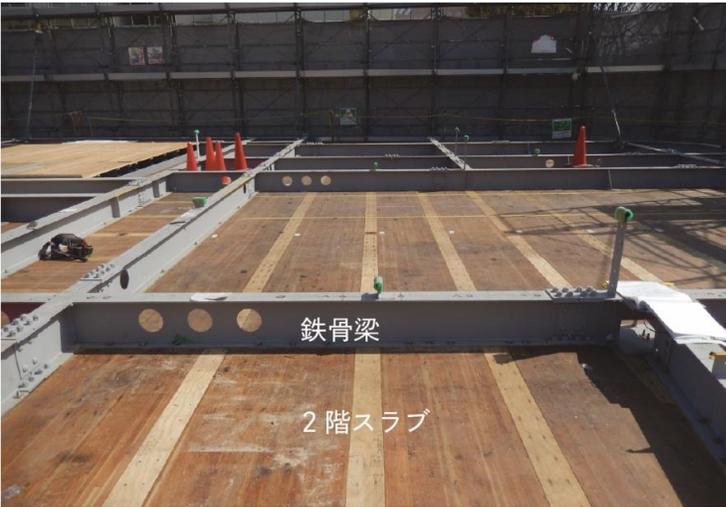
より長いスパン、床ふところの確保  
鉄骨梁は、住宅用ではH-150×194が標準仕様  
本計画では非住宅用途に対応するためH-200×294を採用  
スパンをより飛ばすことができ、床ふところの設備設計  
に適応できるようになっています。



# FMT 2

- ② 先導的な設計、施工技術や生産システムの具体的内容
- ③ 類似の建築物に取組む設計者へのアドバイス

## FMT構法- 防耐火面の技術改良と開発

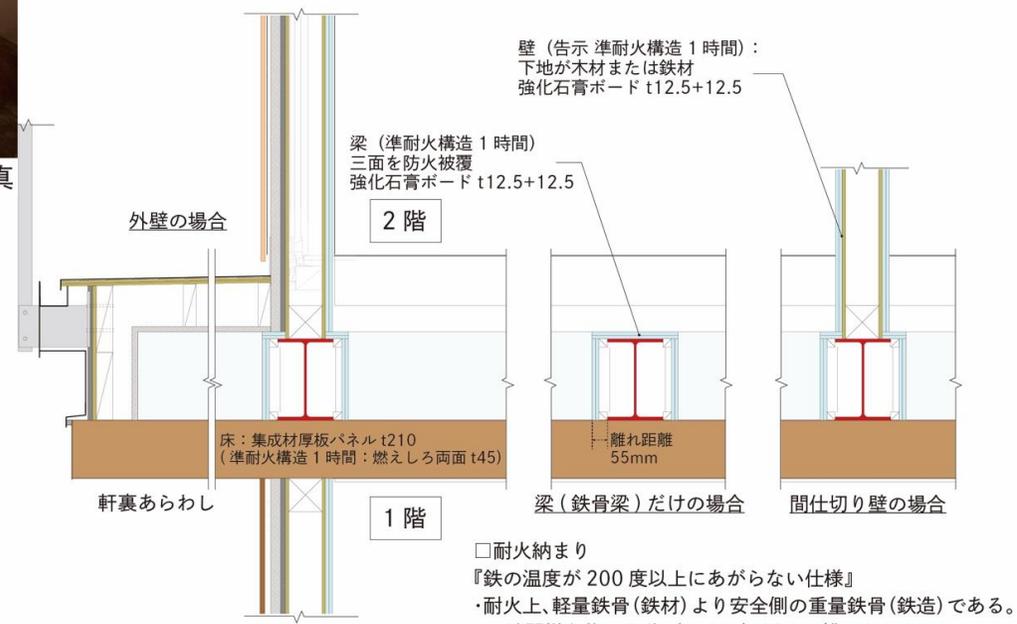
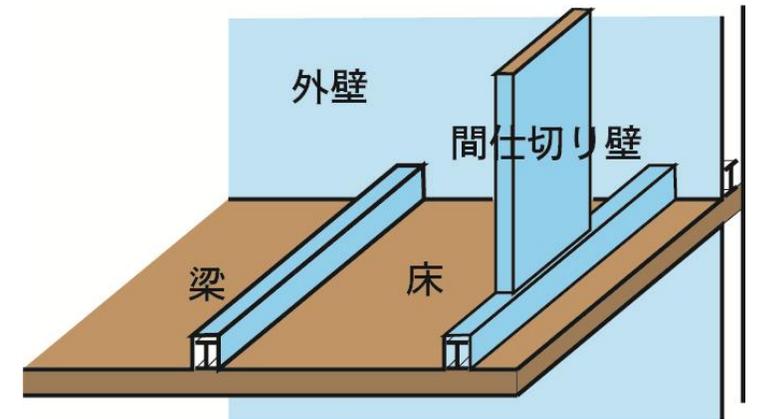


建方工事中の2階スラブ上の写真



被覆工事中の鉄骨梁の写真

鉄骨梁の防火被覆の取合い等の部分を、当該建築物の内部への炎の侵入を有効に防止することができる構造とするため、被覆型で覆い、さらに床の燃えしろ設計スラブと鉄骨の離れ距離を、燃えしろ厚さ45mm以上の55mmをとることによって、鉄骨梁に1時間の間に火が到達しない構造としています。



防耐火納まり断面図

# PROCESS 1

厚板木材

## 集成材とCLT

CLT

集成材



# LAMINATED WOOD

集成材厚板パネルの壁とスラブ  
(FMT構法)

建て方時



集成材

# CROSS LAMINATED TIMBER

CLTパネルのスラブ

建て方時



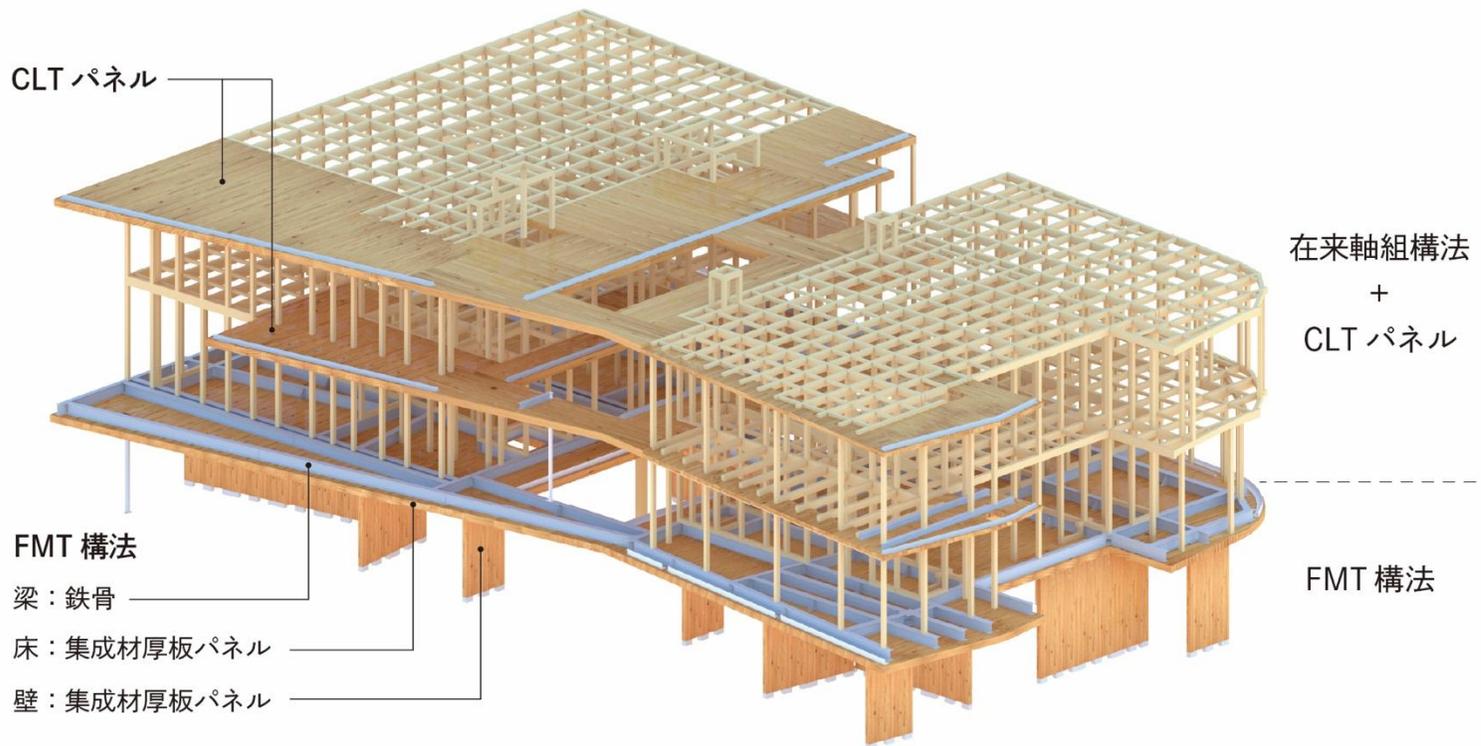
竣工時



# MAKE STORY WITH TIMBER

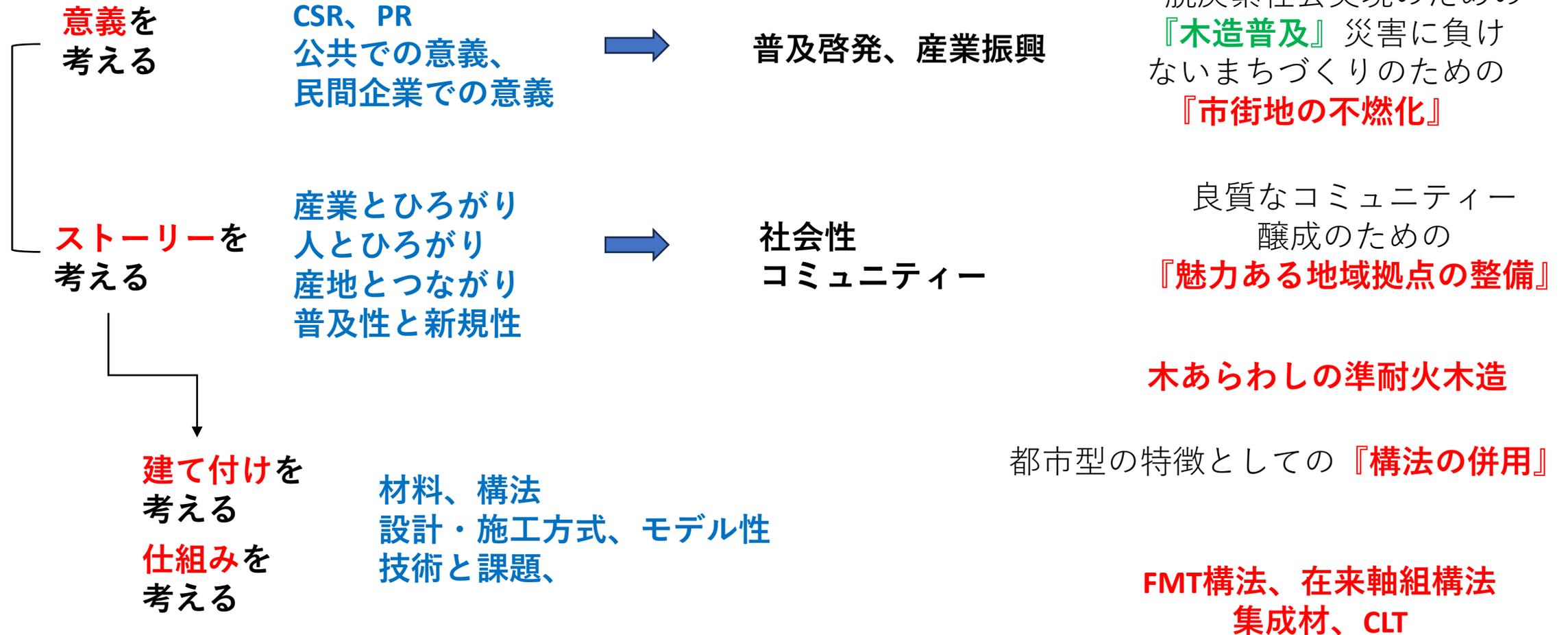
木材を中心に据えた企画・デザインは、様々な「ことづくり」を実現できる。

都市から地方、ものづくりからまちづくりまで、人に親和性があり、環境社会にフィットした様々なストーリーにつなぐことができ、多様な課題に解を与えることができる。



# 木造化の『コンセプトワーク』

ストーリーをつくり課題解決  
コンセプトワーク  
木の持つ力を活かして課題を解く（ソリューション）  
建て付け力、親和力、つなげる力





ティンバライズ 都市木造CG



新しい木造の景観づくり

木というキーワードで  
“こと”、“ひと”をつなげる  
仕組みにつなげる



社会

復興支援  
モバイルキットハウス  
による地域拠点のイメージ

駅名直線住宅 みんなの小屋  
木構アートワークプロジェクト  
『皆で描こう、糸魚川の山と海!!』

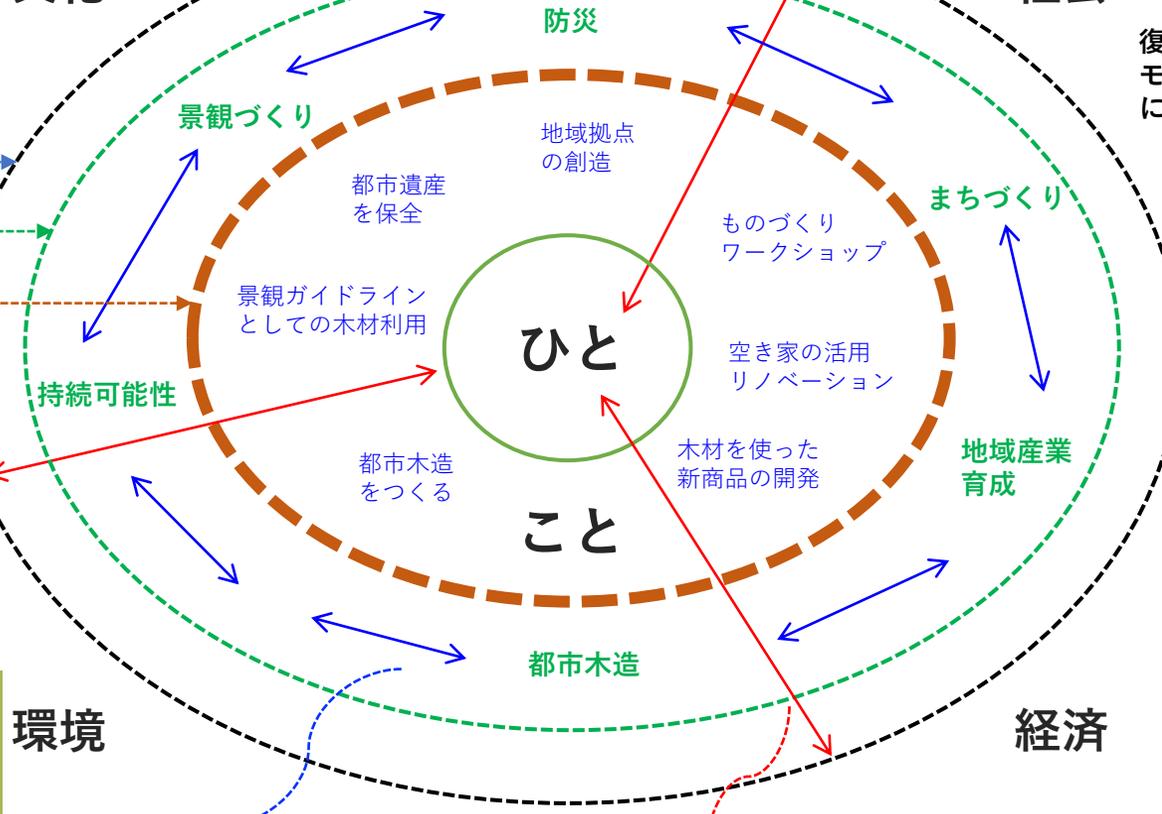
【木構(希望)きぼう』とは?】  
『木構(希望)きぼう』とは? 木構(希望)きぼうとは、木造住宅の魅力を最大限に引き出すための取り組みです。木造住宅の魅力を最大限に引き出すための取り組みです。木造住宅の魅力を最大限に引き出すための取り組みです。

開催日: 2019年3月2日(土)  
第1回 10:00-12:00・第2回 14:00-16:00  
場所: 糸魚川地区公民館3階

町をつなげる  
人をつなげる

【木構(希望)きぼう】  
木造住宅の魅力を最大限に引き出すための取り組みです。木造住宅の魅力を最大限に引き出すための取り組みです。木造住宅の魅力を最大限に引き出すための取り組みです。

文化



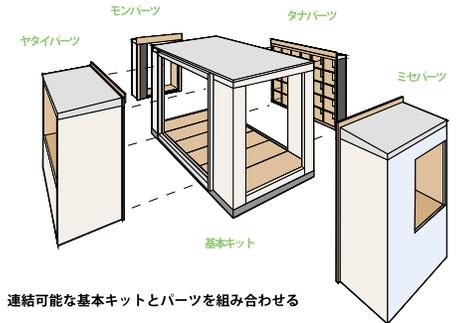
社会という輪

街という輪

カーボンニュートラル 木という輪



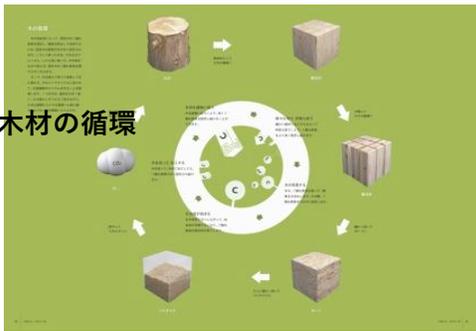
新商品・新技術の開発



SIDE HOUSE (サイドハウス)は、基本キットとパーツで



地元の木材の活用



よこ志向:  
人を繋げる  
ことを繋げる  
ネットワークに繋げる

たて志向:  
仕組みに繋げる  
ことづくり